

1-5 競技上の注意事項

茨城県小学生バレーボール連盟
競 技 委 員 会
令和8年度評議員会

【試合について】

1. 大会は、特別に定める小学生バレーボール・フリーポジション制及び21点ラリーポイント制を用い、他は、当該年度(財)日本バレーボール協会の6人制競技規則に基づいて行う。なお、コートの大さは8m×16m、サービスゾーンの幅は8m、ネットの高さは男子、女子、混合とも2mとする。
2. 第1試合開始時刻は、大会日程に記載されている時刻で行うが、コートの設営や移動時間によって変更することもある。各会場の競技委員の指示に従うこと。
3. 全チーム対象の練習及び試合間の練習では、ネットを使つての練習はできない。また、フロアでの練習は、登録されたベンチスタッフと選手のみとする。(ボール拾いも含む)
4. 試合は、すべて3セットマッチ追い込み形式で行うが、連続する場合は、最大15分以内の休憩をとることができる。※当該チームが選択できる
5. テクニカルタイムアウト時選手は、飲料水が置いてある場所に移動すること。ベンチスタッフが選手に話しかけることを含み選手の体調管理(確認)を行う場合は、給水場所に移動し行うこと。また、モップ掛けはベンチスタッフが行うこと(任意)。
6. 代表者会議には、ベンチスタッフもしくはチーム関係者が必ず出席をすること。

【チーム構成、ベンチスタッフについて】

1. チーム構成は、各大会に定められた人数とする。ベンチには、有効に登録されたものの着席を認める。
2. 監督・コーチ・マネージャーのうち、1名以上は成人であること。(※全国大会出場チームの監督は成人であること) ベンチスタッフのうち、1名以上は、日本小学生バレーボール連盟認定指導者、または公益財団法人日本スポーツ協会認定のバレーボールスタートコーチ、コーチ1以上のいずれかの資格を所持し、試合中はそれらを証明する証明書を首から提げているなければならない。
ベンチスタッフは、年度初めに宣誓書に署名を行うこと。また、JVA メンバー(MRS)に登録しなければならない。
3. 監督・コーチ・マネージャー(ベンチスタッフ)は、統一された服装を着用し、監督・コーチ・マネージャー章を左胸に付けること。 ※Tシャツ・短パン・ハーフパンツの着用は認めない。(襟つき)
4. ベンチスタッフのエントリー変更については、大会初日の受付時に変更届を提出すること。それ以降の変更は認められない。また、監督・コーチ・マネージャーは同一大会において2チームを兼任することは出来ない。

※参考:監督がなんらかの理由で不在となる場合、ゲームキャプテンの要求に基づき、主審が確認したときは、コーチは監督の役割を引き継ぐことができる。(6人制競技規則 第2章 5.3.2 参照)

【ユニフォームについて】

1. 子どもたちの安全性を考慮し、ノースリーブは避けて肌の露出は出来るだけ抑えること。(フレンチリーブ、キャプスリーブは許容される。) 競技会に参加する選手は、統一されたユニフォームを着用すること。ユニフォームとは、シャツ(ジャージ)、パンツ(ショーツ)を指し、ソックスも含まれる。(パンツの長さ、ライン有無、ソックスの長さにも注意) ※全国大会では、着用できるメーカーが限られているのでご注意願います。
2. ユニフォーム背番号等の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し、誰もが見えやすいものにする。
※アンダーウェア・スパッツの着用は認めない。ただし、冬季における寒さ等健康面に配慮し、チーム全員が統一されたものを着用する場合に限り認める。医療用サポーターについては着用を認めるが、審判、競技委員の確認が必要。
3. 混合チームのユニフォームは、相手チーム、観客、レフェリーから見て明瞭に男女の区別ができるように、男女のユニフォームのカラーやデザイン面に注意すること。
(JVA ユニフォーム規程図解リベロプレーヤーのユニフォームを参照)

【JVA登録について】

1. 茨城県小学生バレーボール連盟が主催又は主管する競技会に参加するエントリーメンバー(選手及びベンチスタッフ)は、公益財団法人日本バレーボール協会加盟団体登録規程(JVA-MRS)に基づき、個人登録(登録料納付)ならびに、ベンチスタッフについてはチームスタッフ(TS)登録を済ませていること。

【大会参加申込みについて】

1. 大会開催要項を確認のうえ、カテゴリーに注意し申込期限を厳守すること。
2. JVA 登録番号確認のため、「チーム加入選手一覧」を添付すること。 ※PDF データ
3. 選手権・支部別・新人大会については、茨城小学生バレーボール連盟HPに掲載してある申込書を使用すること。

○大会当日の受付時に申込書の別シートにある【構成メンバー表(コンポジションシート)】を必要な試合数分を印刷して提出すること

○今年度よりプロトコール時に提出する【スーティングラインナップシート(オーダー表)】は必要な試合数分を各チームで印刷して使用すること

※様式は県小連HPからDLしてご利用ください

【各委員会より_競技委員会_その他競技関係様式_スーティング ラインナップ シート】

【ベンチへの持込物について】

1. 競技に必要な飲料水、救急用品、タオル以外はベンチに持ち込まないこと。
※ペットボトルの持ち込みは禁止

※タオル・水筒等をまとめて入れるケースについては必要最小限の大きさ（特に高さ）の物を使用してください。（バギー等の大きなワゴンについては、選手の安全を守る観点から使用しないでください。）

2. 飲料水については、選手・ベンチスタッフとも、スクイズボトルまたはダイレクトボトル（直飲み水筒）を使用のすること。利用の際、床にこぼさないよう十分注意願います。
3. うちわをベンチに持ち込んだ場合は、セット間とタイムアウトの時しか使用できません。なお、応援用の大型うちわやマスコット（ぬいぐるみ等）をベンチに持ち込むことはできません。

【応援について】

1. 応援は、試合の（審判の吹笛等）の妨げにならない範囲で行ってください。
2. 横断幕やのぼりは、試合当該チームのみの練習が許可されてから当該チームのみが掲出し、試合終了後ただちに撤去すること。開会式・閉会式・全体のコート開放時は、各チームとも横断幕やのぼりの掲出は禁止する。応援者の邪魔にならないようなぼりは、応援席の最上階に掲出すること。横断幕は手すりの上部には掲出せず、下部に掲出すること。（役員の指示に従うこと）

※横断幕の大きさは大会の運営、試合の妨げにならない大きさの物を掲示してください
基準は全日本大会に準じて《縦 70cm×横 500 cm》以内を推奨

※のぼりについては各チーム5本以内とし、選手個人の名前を記載することは禁止

3. 試合中の応援は声・拍手のみとし、鳴り物（太鼓・笛・ペットボトル等）を使用するとは禁止とする。また、特大メガホンの使用は禁止。（一会場複数コートでの試合となることから、他のコートのゲーム運営に支障をきたすことがあるため）周りの人たちの迷惑にならないよう節度ある応援にご協力願います。

※メガホンの大きさは一般的に市販されている大きさ（長さ約50cm）以内が許容範囲

※メガホンは拡声用具としてのみ使用を許可（メガホンを叩いて音を出す行為は禁止）

※同一フロア（例：サブアリーナ）での応援の際にはメガホン等の使用は禁止